

神奈川県立

つるみ
鶴見高等学校



所在地：横浜市鶴見区下末吉6丁目2番1号 〒230-0012

電話：045(581)4692

FAX：045(584)8505

URL：<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/tsurumi-h/>

創立：昭和16年1月

課程：全日制

設置学科・生徒数・学級数

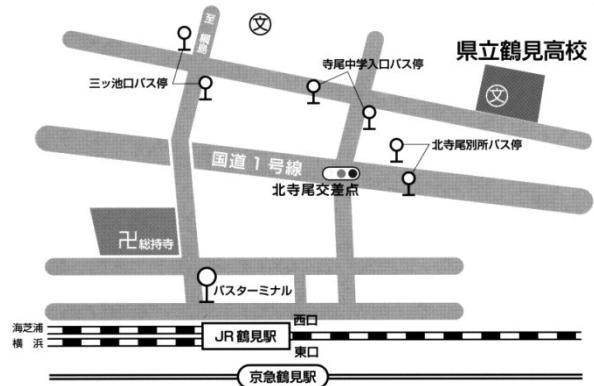
	1年	2年	3年	計
普通科	319	314	316	949
学級数	8	8	8	24

(生徒、学級数については令和5年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- JR鶴見駅西口より
臨港バス（鶴05, 鶴06, 川50系統）「寺尾中学入口」
下車徒歩5分
- JR東神奈川駅西口より
市営バス（7, 29系統）「北寺尾別所」下車徒歩7分
- 東急東横線綱島駅東口より
臨港バス（鶴03系統）「三ツ池口」下車徒歩12分
- JR川崎駅西口より
臨港バス（川50系統）「寺尾中学入口」下車徒歩5分
- JR・東急東横線菊名駅東口より
臨港バス（鶴01系統）「貯水池前」下車徒歩15分



● 県立鶴見高等学校

校訓 「探求 真善美」

鶴見高校は社会のリーダーを育成します

『鶴見高校とは』

昭和16年に横浜市内で4番目の旧制中学校として創立され、23年には現校名に改称、25年より男女共学となり、開校以来、25,000名を超える卒業生を輩出した伝統のある高校です。また、日本さくら名所100選に選定された緑あふれる県立三ツ池公園に隣接しています。

校是の「文武両道」は日々の学習・学びと、部活動・学校行事を通じて自分を鍛えること。「自主自立」は自ら考え社会で責任を果たし、社会に貢献できることを目指しています。

さらに、校訓の「探求 真善美」は、真＝真理、善＝人としての在り方、美＝美しさを見極める感性を涵養し、より豊かに生きることを求める人を育成することを目指しています。

現代の社会は様々な課題を抱えていますが、皆さんが、課題を自分自身で解決する力を身に付け、社会で活躍できる人物に成長するよう、3年間、本校教職員が支援していきます。



上：授業風景

下：サッカー部

『「? (なぜ) を! (できた) にかえて、未来をかえる』生徒の育成を目指します。

鶴見高校では、一人ひとりの生徒が、自ら課題を発見し、その課題の解決を目指して主体的に学び考え行動することができるようにすることを、日々の学習・学びと、部活動・学校行事等を通して支援します。

『教育活動の特徴』

- ・自習室を整備し、放課後の自習活動をサポートしています。
- ・業者テスト等により、学校と家庭での学習状況を振り返り、自分自身の学習目標を的確に把握して、学習意欲の向上につなげます。
- ・神奈川大学との**高大連携**を実施しています。
- ・2年生より**文系・理系のコース選択制**を導入しています。
- ・外国語（英語）では1・2年生、数学では2年生で**少人数学習**を展開しています。
- ・令和4年度から、次の通り改善しました。
 - ・1時間あたりの授業時間を55分から50分にして週31コマの授業を行います。
 - ・定期考査を5回から4回にします。
 - ・3年生では、金曜日を除き午前は必修・必修選択の授業で、午後は自由選択の授業です。金曜日は全学年6時間です。

『多彩で豊富な学校行事』

- 4月 新入生歓迎会
遠足
- 5月 生徒総会
体育祭
- 6月 定期考査Ⅰ
- 7月 文化祭（かくりょうさい鶴陵祭）
- 8月 定期考査Ⅱ
- 9月 球技大会
大学訪問〈1年〉
修学旅行〈2年〉
芸術鑑賞〈3年〉
- 11月 合唱コンクール
- 12月 定期考査Ⅲ
- 2月 マラソン大会
- 3月 三年生を送る会
卒業式
定期考査Ⅳ
OB・OG等による職業講演会
球技大会

『個に応じたキャリア教育』

- ・様々な分野で活躍しているOB・OG等を招き、**職業講演会**を実施しています。エンジニアや銀行員など20近くの職種からお話を聞いて、職業に対する理解を深めます。
- ・スタディーサポートや模擬試験の結果を利用して推移するデータや一人ひとりの特性を考えて、進路を選択していきます。
- ・講師の方を招き、様々な分野の学部・学科の説明を受ける**分野別説明会**を実施し、進路選択の手助けとします。
- ・2・3年生は、大学などの**オープンキャンパス**に積極的に参加し、志望校への意欲を高めます。
- ・興味と関心のある生徒に対し、**インターンシップ**や**ボランティア活動**を積極的に紹介し、職業選択の参考にします。

令和4年度大学合格実績

鹿児島大学、富山大学、琉球大学、横浜市立大学、防衛大学校、水産大学校など国公立大学に6名。東京理科大学、学習院大学、明治大学、青山学院大学、中央大学、法政大学、國學院大学、明治学院大学、日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学、神奈川大学、芝浦工業大学、東京都市大学など有名私立大学に約230名が合格しました。

『活発な25の部活動』

多くの生徒が部活動に積極的に参加し、学習と部活動の両立に取り組んでいます。

《運動部》

陸上競技、水泳、バレーボール、バドミントン、バスケットボール、ソフトテニス、ラグビー、サッカー、ハンドボール、卓球、剣道、柔道、テニス、ダンス、野球（硬式）、ラクロス

《文化部》

美術、写真、吹奏楽、茶道、華道、生物、漫画研究、書道、SOS（軽音楽）

『令和5年度 説明会の予定』

- ・長期休業中の平日は、原則として毎日、学校見学・説明会を実施します。また、11月には土曜日にも実施する予定です。
- ※詳しくは本校ホームページをご覧ください。



つるみそうごう
神奈川県立 鶴見総合高等学校



所在地：横浜市鶴見区平安町2丁目28番地8号 〒230-0031
 電話：045(506)1234
 FAX：045(504)8733
 URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/tsurumisogo-ih/
 創立：平成15年11月(平成16年4月開校)
 課程：単位制による全日制
 設置学科・生徒数・学級数

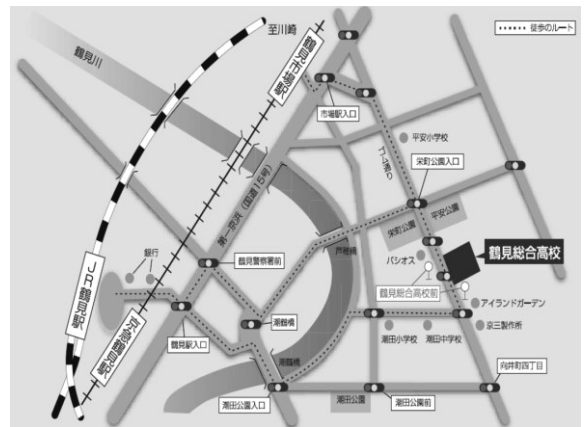
	1年	2年	3年	計
総合学科	278	268	215	761
学級数	7	7	6	20

(生徒、学級数については令和5年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- JR鶴見駅・京浜急行線京急鶴見駅より
 - ・徒歩22分
 - ・市営バス(16系統)「向井町循環」もしくは臨港バス(鶴09系統)「ヨコハマアイランドガーデン」行き「鶴見総合高校前」下車徒歩1分
- JR川崎駅東口より
 - 臨港バス(川29系統)「入船橋循環」「鶴見総合高校前」下車徒歩1分
- 京浜急行線鶴見市場駅より徒歩17分



●神奈川県立鶴見総合高等学校

自分も他者も大切にし互いに高めあう

みなさんは、「自分の未来」をどのように思い描いていますか？
 鶴見総合高校は、自分を大切にし他者を理解し相互を高めあう能力、社会の一員として責任に基づいて行動する能力、そして選択や体験学習を通して「生きる力」を育む学校です。
 本校では、「産業社会と人間」・「総合的な探究の時間」の授業を合わせて「未来探索」と呼んでいます。
 共通必修科目や系列選択科目、そして「未来探索」の授業(3年間)をとおして、自分や社会を知り、様々な分野で自分の目標に向かって「これからの社会に必要な資質・能力」を育成します。

未来探索

1年次 職業世界を広げる進路を考える

・職業人インタビュー・履修ガイダンス

2年次 はたらき方を考える進路を定める

・上級学校訪問・プレ課題研究

3年次 目標を実現する学びを深化させる

・3年間の学びの集大成～課題研究～

希望進路の実現

◇教育活動の特徴

- 年次進行型の単位制高校……年次進行により基礎・発展と系統立てた学習をしていきます。
- 基礎学力の定着と向上……学校必修科目を増やし学習時間の確保や習熟度別学習などの取組みを行っています。
- 系列科目……4つの系列があり基礎・発展の科目があります。
- 個に応じた相談体制……スクールカウンセラーや学習支援サポート(外国人等)などの体制が充実しています。
- 学校外の学修による単位認定…技能審査(検定)、インターンシップ、校外連携講座などの成果を単位認定します。
- 地域交流や体験活動を重視……近隣小中学校との交流や外部講師の授業、職業人インタビューなどを行っています。

◇多彩な系列科目

※科目は変更することがあります。

グローバル教養系列

論理国語、文学国語、古典研究、世界史探究、日本史探究、実用数学、数学発展、物理、化学、生物、Practical English、スペイン語入門、韓国朝鮮語入門、中国語入門など

芸術スポーツ系列

音楽、美術、工芸、書道、絵画、陶芸、染織、演劇、現代書、幼児教育音楽、ヒップホップダンス、アダプテッドスポーツ、声楽、コンピュータグラフィックス、音声表現など

生活デザイン系列

社会福祉基礎、生活支援技術、こころとからだの理解、暮らしと植物、野菜づくり、食品加工、保育基礎、ファッション造形、服飾手芸、フードデザイン、など

情報ビジネス系列

情報産業と社会、情報の表現と管理、情報デザイン、メディアとサービス、コンテンツの作成と発信、ビジネス基礎、原価計算、簿記、簿記実践、マーケティング



演劇



社会福祉基礎



ヒップホップダンス



生活支援技術

◇学校行事 (令和5年度)

- 4月 入学式
- 6月 体育祭
- 8月 つるそうみらい塾 総合学科夏季連携講座
- 9月 第1回学校説明会 (ホームページをご覧ください)
- 10月 文化祭 課題研究発表会
修学旅行(2年)
- 11月 職業人インタビュー
第2回学校説明会 (ホームページをご覧ください)
- 12月 つるそうクリスマスコンサート
- 3月 卒業式 球技大会(1・2年)
未来探索発表会



課題研究発表会



体育祭



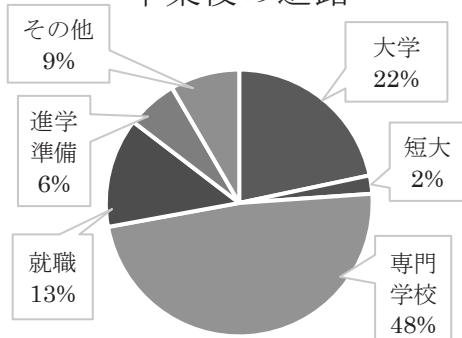
球技大会



- ◇部活動

 - サッカー部
 - バスケットボール部
 - 硬式野球部
 - 卓球部
 - 陸上競技部
 - 柔道部
 - バドミントン部
 - ソフトテニス部
 - バレーボール部
 - テニス部
 - 剣道部
 - ダンス部
 - 女子サッカー部
 - 和太鼓部
 - 軽音楽部
 - 美術部
 - 吹奏楽部
 - 演劇部
 - 料理部
 - 茶道部
 - 写真部
 - パソコン部
 - 鉄道研究部
 - 漫画研究部
 - 陶芸部
 - 放送部
 - 英語部
 - かるた部

卒業後の進路



(令和5年3月卒業)

◇高校進学を希望する

日本語を母語としない方へ

本校では、日本語を母語としない生徒のために、「日本語」の授業や国語科・地理歴史科・公民科・数学科・理科・家庭科・保健体育科等で「個別支援授業」を行っています。

また、韓国朝鮮語や中国語などの系列科目もあります。

授業や学校行事・部活動などをはじめとする皆さんの高校生活が充実したものとなるよう、様々な形でサポートを行っています。



かながわこうぎょう

神奈川県立 神奈川工業高等学校



所在地：横浜市神奈川区平川町19番地1号 〒221-0812

電話：045(491)9461

FAX：045(413)4101

URL：<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanagawa-th/>

創立：明治44年5月

課程：全日制

設置学科・生徒数・学級数

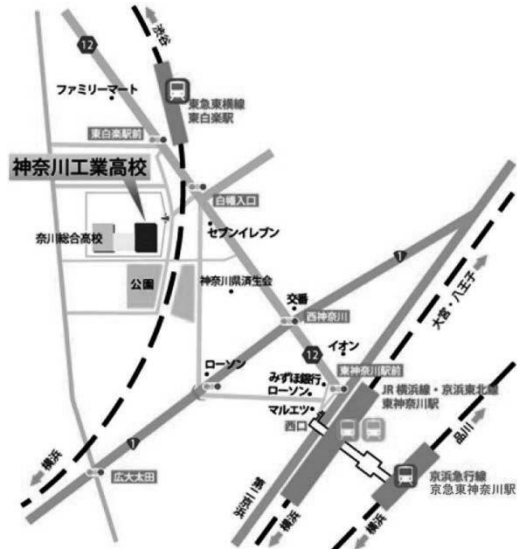
	1年	2年	3年	計
機械科	80	79	77	236
建設科	80	77	71	228
電気科	120	120	121	361
デザイン科	41	39	37	117
学級数	8	8	8	24

(生徒、学級数については令和5年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- 東急東横線東白楽駅より
・徒歩3分
- JR京浜東北線・横浜線東神奈川駅より
・徒歩8分
- 京浜急行線京急東神奈川駅より
・徒歩10分



来たる国際社会や超スマート社会で活躍できる Society5.0 エンジニア・デザイナーの育成を目指します。

創造的発想と専門力！

- ◆明治44年に神奈川県で最初の工業学校として設立され、令和5年に**創立112周年**を迎えます。日本の産業界で活躍する人々の中にも多くの卒業生がいます。
- ◆教育目標は**来たる国際社会や超スマート社会で活躍できるSociety5.0エンジニア・デザイナー**の育成です。令和4年度より神奈川県から**STEAM教育研究推進校**の指定を受け、より実践的で創造力豊かな教育を目指します。
- ◆令和5年度学校説明会を次のとおり実施します。
7/22(土)、9/9(土)、11/18(土)、12/16(土)



公式 YouTube

恵まれた環境と施設

- ◆東白楽、東神奈川、京急東神奈川の**各駅から近く**、県内の様々な地域から生徒が通学しています。
- ◆平成7年に新築された校舎は、冷暖房設備を備えた10階建てのビルで、様々な実習施設、屋内プール、広い食堂、夜間照明付のグラウンド、全天候型テニスコートなどを備えており、施設がとても充実しています。



室内プール

食堂

充実した学校行事

遠足・球技大会・体育祭・文化祭・修学旅行等があります。また、**企業の施設見学**や**課題研究発表会**等、工業高校ならではの行事もあります。



遠足



修学旅行



球技大会



体育祭



文化祭



課題研究発表会

盛んな部活動

- 【運動部】陸上競技・サッカー・ラグビー・ハンドボール
野球・バスケットボール・バレーボール・バドミントン
卓球・剣道・柔道・弓道・相撲・硬式テニス・水泳
水球・ワンダーフォーゲル・ダンス
- 【文化部】映画研究・音楽・写真・鉄道研究・陶芸
アマチュア無線・茶道・ロボティクス・クリエイション
吹奏楽・放送・美術・eスポーツ
- 【同好会】イラスト漫画・ものづくり・ソフトテニス・園芸
料理・電気研究

★水球・写真・ものづくり同好会が全国大会に出場。

神奈川工業ではどんな学びをするの？

本校では国語や数学などの共通科目に加え、専門科目を学びます。**60～70%が共通科目、30～40%が専門科目**です。**選択科目**により、将来の進路(大学進学・就職)に合わせて、共通科目と専門科目の割合を変えることができます。

また、本校では、理科科目・工業科目・外国語等を用いた問題解決力を養成する「**神工STEAM教育**」を実践しています。

共通科目	選択	工業科目	(学習の割合)
------	----	------	---------

教育活動の特徴

神奈川工業高校には「4つの科」があり、それぞれ特色ある教育活動を行っています

機械科 ~Machinery~

- ◆機械や部品を設計・加工するための知識・技術、機械を制御するためのメカトロニクス技術等を学びます。
- ◆実習では旋盤やフライス盤を使った金属加工や溶接、コンピュータ製図などを体験しながら学んでいきます。



建設科 ~Architecture~

- ◆建築物の構造や材料、設計や施工方法、建築法規、製図等を学びます。
- ◆実習では建築物の組立・解体や、測量、CADなどを体験しながら学んでいきます。



電気科 ~Electricity~

- ◆1年次には電気・電子・情報の幅広い内容を学び、2年次からは電気と電子情報のコースに分かれて学びます。
- ◆実習ではアンプ付きスピーカーの製作、デジタル時計の製作、ロボットプログラミングなどを体験しながら学んでいきます。



デザイン科 ~Design~

- ◆日常製品をデザインするプロダクトデザイン、広告や印刷に関わるビジュアルデザイン等を学びます。
- ◆レタリングや製品・広告を企画・計画、製作しデザインワークの過程などを体験しながら学んでいきます。



官民連携で展開するIT人材育成のための新しい教育モデル「かながわP-Tech」、 県立高校生目的別学習活動コンソーシアム「次世代建築リーダー育成コンソーシアム」

「かながわP-TECH」とは、教育行政・学校・企業がパートナーシップを結び、協働してIT人材育成に取り組む、高等学校と2年生カレッジ(短大/専門学校など)を統合した5年の公教育学校モデルです。

神奈川県では、日本初の公教育学校同士のP-TECH(かながわP-TECH)として、県立神奈川工業高校・日本IBM・県立産業技術短期大学校が連携して、次世代IT人材の育成に電気科生徒を対象に取り組んでいます。

「次世代建築リーダー育成コンソーシアム」とは、高等学校・専門学校・企業がコンソーシアムを構築し、協働して施工管理技術者育成に取り組む、高等学校と4年生専門学校を統合した7年の教育モデルです。

神奈川工業高校は、東京テクニカルカレッジ、清水建設と連携し、次世代建築リーダー育成の教育を、建設科生徒を対象に取り組んでいます。

進学にも就職にも強い！理工系なら神奈川工業高校へ！！

進学

- ◆本校では、高校で学んだ専門性を武器に、9割以上の生徒が学校推薦型選抜(指定校制・公募制)または、総合型選抜を利用して進学しています。近年は、各大学この2つの選抜方法での入学者比率が、大部分を占めているため、以前とは違い、工業高校から大学に進学しやすくなっています。進学先としては、主に東京理工系4大学や東京5美術大学を始めとする理工系学部(デザイン科含)や、美術系学部を有する各大学に進学しています。

- ◆主な大学進学先(令和4年度実績 現役生のみ)
令和4年度は、64名の生徒が大学・短期大学へ進学しました。

【私立大学】桜美林大学3名、大阪芸術大学1名、神奈川大学9名、金沢工業大学1名、関東学院大学6名、工学院大学1名、国土館大学1名、相模女子大学2名、湘南工科大学2名、女子美術大学5名、専修大学1名、玉川大学1名、多摩美術大学1名、東海大学3名、東京工科大学4名、東京工芸大学4名、東京造形大学3名、東京電機大学5名、東洋大学1名、日本大学3名、横浜美術大学2名 など

就職

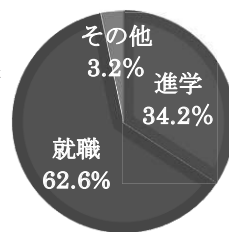
- ◆国内有数の大企業を始めとする、多くの企業から求人があります。令和4年度は、就職内定者171名に対して、約2,500社から求人を受けました。工業高校への求人は、大部分が非公開求人であり、職種も通常ハローワークで公開されている「技能職」だけでなく、一般的に大卒が就くと考えられている「技術職」が多くあるのが特徴です。本校では多数の生徒がこの「技術職」への就職を希望しています。

- ◆主な就職先(令和4年度実績)

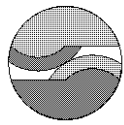
【公務員】海上自衛隊1名、神奈川県内広域水道企業団1名、国立印刷局1名、国土交通省1名、横浜市1名 など

【民間企業】NTT東日本4名、いすゞ自動車2名、小田急電鉄2名、関電工2名、関東電気保安協会1名、住友電気工業2名、大和ハウス工業2名、東亜建設工業4名、東海旅客鉄道(JR東海)1名、東京精密2名、東芝1名、東芝エレベータ4名、日産自動車2名、日本電気(NEC)2名、東日本高速道路1名、富士ソフト1名、富士電機2名、三菱電機ビルソリューションズ3名、リコージャパン2名 など

令和4年度進路先割合



進学: 93名
就職: 171名
その他: 9名



かながわそうごう
神奈川県立 神奈川総合高等学校



所在地：横浜市神奈川区平川町19番地2号 〒221-0812
電話：045(491)2000
FAX：045(491)3190

URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanagawasohgoh-h/

創立：平成6年10月（平成7年4月開校）

課程：単位制による全日制

設置学科・生徒数・学級数

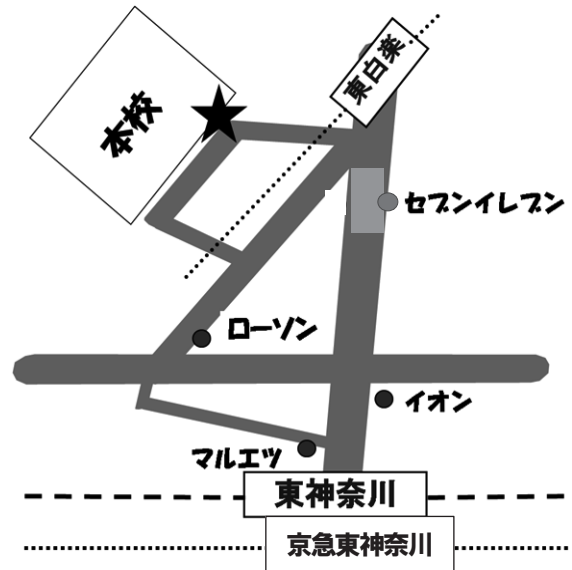
	1年	2年	3年	計
普通科	219	224	227	670
（個性化コース）	119	117	120	356
（国際文化コース）	100	107	107	314
舞台芸術科	30	30	29	89
学級数	7	7	8	22

（生徒、学級数については令和5年4月現在）

<学校案内図>

利用交通機関

- 東急東横線東白楽駅下車徒歩3分
- JR東神奈川駅より徒歩8分
- 京浜急行線京急東神奈川駅より徒歩10分



1. 教育活動の特徴

(1) 単位制

神奈川総合高校は、学年制をとらない全日制・普通科と専門学科舞台芸術科の単位制高校です。普通科は個性の発見と伸長をめざす「個性化コース」と、語学・国際理解科目を中心に学習する「国際文化コース」を設けています。

(2) 教育目標

生徒一人ひとりの個性の伸長を図り、主体的に学び、国際社会の中で共に生き共に育つ高い人格と心豊かな感性を備えた人間を育成します。

「個性化コース」は、多様な科目の中から選択しチャレンジすることによって、可能性を試し、個性を発見して伸ばすことができます。

「国際文化コース」は、語学および国際理解を深める科目を重点的に学習し、国際社会で未来を切り開く資質を高めることができます。

全日制専門学科舞台芸術科は舞台芸術を広く学ぶことを通してコミュニケーション能力や表現力を伸ばしていくことができます。

(3) 多様な科目・90分授業

必修科目、自由選択科目のほか、人文・社会科学、自然科学、スポーツ・生活科学、芸術、国際文化のフィールド科目を合わせると150以上の講座が設定されています。基礎的・基本的な力を身につけることができるとともに、発展的なレベルの高い講座もあり、自らの興味・関心や進路希望の必要に応じて個性的な学習活動が展開できます。

第二外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語、ハンガール、スペイン語を学ぶことができ、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、数学Ⅰ・Ⅱでは、習熟度別授業が実施されています。

授業は90分で展開されます。また、舞台芸術科専門科目の一部を除き、普通科・舞台芸術科のどちらに所属していても自由に履修することができ、幅広く、そして深く学習できるようになっています。



(4) テーマ研究 (総合的な探究の時間)

大学には「卒業研究」「卒業制作」というものがありますが、「テーマ研究」は、その高校生版ということができます。テーマの設定、研究の進め方、発表方法などを主体的に考えて進め、進路実現のモチベーションを高めています。発表スタイルは個性豊かで、映像機器を駆使したり、ポスターを作成したり、発表スタイルにそれぞれの個性が光ります。また演奏会やダンス、演劇をテーマにした人は多目的ホールの舞台上で披露しています。



(5) グローバル教育研究推進指定校

グローバル社会で生き抜くために必要な多角的視野・課題発見能力・問題解決能力を育成します。また、アメリカ、イギリス、フランス、スペイン、ドイツ、中国、韓国の7カ国の高等学校とのパートナー校交流事業を行っています。(新型コロナウイルスの世界的感染のため、現在は訪問受け入れを中止していますが、状況の回復を待ち、安全が確認されてから、従来の交流を再開する予定です。それまではオンラインによる交流などを行っていく予定です。)

令和4年度は3名の卒業生が海外の大学に進学、または進学予定です。

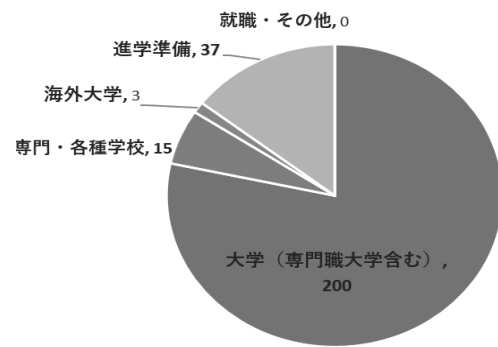
(6) 夢をつかむ学び舎

神奈川総合高校でのさまざまな経験を通して夢を見つけ、5年後、10年後、さらに自分の人生をアレンジしてください。在校生一人ひとりが、その夢を実現させるために必要なものは何かを発見し、日々の学習活動に取り組み、在学中だけでなく卒業後も夢を実現させようと頑張っています。

2. 学校行事

スポーツ大会、翔鷗祭(文化祭)などの他に、本校の特色ある学校行事として研修旅行があります。この行事は、「テーマを持って事前学習を行い、そのテーマに沿った課題を解決するために現地での調査、体験などを通じて考察し、学びを深める」ことを目的として、いくつかの学習内容(伝統文化・震災学習等)の中から自分の興味や関心に沿ったものを選ぶことができます。

3. 卒業後の進路 (令和4年度)



主な進学大学

国公立大学

横浜国立大学
横浜市立大学
東京工業大学
国際教養大学
東京都立大学

私立大学

立教大学
明治大学
上智大学
慶應義塾大学
早稲田大学

4. 部活動

本校には次の部・同好会があります。ほとんどの在校生が加入し、盛んに活動しています。

部 水泳、バレーボール、バドミントン、バスケットボール、サッカー、テニス、弓道、合気道、ワンダーフォーゲル、Chiffons(ダンス部)、GACHACK(ダンス部)
吹奏楽、美術、Chorus Lovers(合唱部)、弦楽合奏、軽音楽、イラスト、写真、文芸、放送、天文、茶道、ミュージカル&演劇、デザイン、SoLidクラフト(立体造形部)、競技かるた、ISAK(国際支援部)、自然科学、かもめのねごと編集局(新聞部)、CG総合

同好会 陸上、剣道、書道、ESS、JAZZ 楽団、9Beats(ダンス)

令和4年度の主な記録

美術部	県高校美術展 高文連会長賞
SoLidクラフト部	県高校美術展 高文連会長賞
デザイン部	全国ファッションデザインコンテスト 文部科学大臣賞
ミュージカル&演劇部	県高校演劇発表会 優秀賞 高文連会長賞
放送部	関東地区高校放送コンクール 優秀賞
外国語科	フランス語暗唱コンクール 2位 スペイン語スピーチコンテスト 優秀賞
フルコンタクト空手	世界ウエイト制大会女子中量級 準優勝



よこはますいらん
神奈川県立 横浜翠嵐高等学校



所在地：〒221-0854 横浜市神奈川区三ツ沢南町1番地1号
電話：045(311)4621
FAX：045(312)9142
URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/yokohamasuiran-h/
創立：大正3年5月
課程：全日制、定時制
設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
普通科	361	347	350	1058
学級数	9	9	9	27

(生徒、学級数については令和5年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- 横浜駅西口より
 - ・地下街CまたはD階段
 - 市営バス(6番のりば34系統「沢渡循環」)「翠嵐高校前」(約10分)下車
 - ・徒歩約20分
- 東急東横線反町駅より
 - ・徒歩約18分
- 市営地下鉄ブルーライン三ツ沢下町駅より
 - ・徒歩約12分



●県立横浜翠嵐高等学校

「翠嵐」の人材育成とは…

「翠嵐」は「すいらん」と読みます。旧制中学時代につくられた校歌の中に、「美なりや翠嵐」とあるところから校名になりました。“樹木の青々とした様子”を意味する言葉

ですが、これは本校が立地する緑豊かな三ツ沢の丘の情景を表しています。

本校は、大正3(1914)年に県立第二横浜中学校として開校。当時は男子のみの旧制中学校でしたが、昭和25(1950)年に、現在の県立横浜翠嵐高等学校と改称して男女共学となりました。100有余年の歴史を刻む中で、滝沢又市初代校長の『大平凡主義』という基本精神の下、自由な校風を受け継ぐとともに、「勤労と責任の尊重」「気品ある風格と豊かな情操の涵養」などの校訓を守り、常に時代をリードする素晴らしい人材を数多く世に送り出してきました。そしてこれからも、「翠嵐」は進歩を続けていくために、地道な努力を重ねながら、さまざまな先進的な取り組みを推進していきます。

平成28年度からは県教育委員会より「学力向上進学重点校」の指定を受け、確かな学力と豊かな人間性・社会性を備えた次世代を担う人材育成に資するため、組織的なカリキュラム開発と授業の質的保障、個別の学力向上支援体制の充実等、生徒の第一志望の進学実現に向けて取り組み、グローバル人材・次世代リーダー育成を目指しています。

教育活動の特徴

【「翠嵐」は自学自習を求める】 本校では、昭和26(1951)年から前・後期の2期制を実施しています。また、各教科・科目の特性を生かすために、95分授業をベースとしながら45分および50分授業も組み込み、授業の質の向上と量の確保に努めています。



授業の様子

現在、「学力向上進学重点校」としての特色づくりをさらに進め、生徒一人ひとりが希望する進路を実現できるようなカリキュラムの開発や学習機会の提供、学習環境の整備などに取り組んでいます。その一環として、平成30年度から、2年生の文系数学Ⅱ・数学Bにおいては習熟度別授業、2年生および3年生の英語表現Ⅱにおいては少人数授業を行い、基礎学力の充実をはかるとともに、発展的な内容の授業を展開することにより

学力の向上を目指しています。

しかし、最も大切なことは、今までの「中学の学習」から脱して、自ら進んで学ぶ「高校の学習」へと切り替えることです。“翠嵐生”になったからには一日も早く「自学自習」の姿勢を身につける必要があります。

その1年生は入学直後に「学習オリエンテーション」を実施し、予習・復習の重要性を学んでもらいます。日々の自主的な学習こそが重要なのです。また、毎日の授業の他に、土曜日や長期休業期間に、さまざまな科目の講習を開講しますので、自分の興味や関心、そして進路を意識して積極的に参加しましょう。

【進路指導が充実した「翠嵐」】 本校では、入試制度や入試スケジュールおよび進路の現状などについてそれぞれの学年に必要な情報を整理したオリジナル資料を作成しています。

学年ごとに実施する生徒対象の進路集会や保護者対象の進路説明会などでは、これらの資料を活用して的確な情報提供ができるように努めています。また、ガイダンスグループ(進路指導担当)と学年が連携し、学級担任との生徒面談や保護者面談を通じて計画的で丁寧な進路指導を行っています。さらに外部模試を有効に活用し、豊富なデータに基づいた精度の高い進路指導を行い、3年生の進路決定に至るまで段階的な指導を行っています。

総合的な探究の時間(本校では「グローバル探究」と呼んでいます)では、将来の職業選択を視野に入れたテーマで研究を進めることにより進路ビジョンの確立に取り組んだり、普段の授業の枠を超えて開設される「探究講習」を自己の興味・関心に応じて受講し、課題解決能力を育んだりします。また、各界の第一線で活躍している本校の卒業生を講師に招いて実施する「分野別職業講話」、夏季休業期間中の大学のキャンパス見学、医師・看護師体験などにより進路に対する意識を高めます。各種受験雑誌、大学の学校案内、大学入試の過去問題集などの資料が充実している進路指導室は、パソコンやコピー機も備えられており、明るく落ち着いた雰囲気の中で進路情報の検索や入試問題の傾向を研究する生徒が数多く訪れています。

【充実した「自学自習」サポート体制】 平成元(1989)年に米国メリーランド州のエレノア・ルーズベルト高校と姉妹校の協定を結んで以来、相互に訪問団を派遣し交流を続けています。国際交流に興味・関心のある生徒には、日米間の文化や生活などの違いを学び、相互理解を深める機会となるでしょう。

さらに、生徒の「自学自習」の姿勢確立や、学力向上への意欲をサポートするための一環として、学習環境の整備を進めており、自習室・進路指導室には60台の個別ブース型デスクを配置しています。早朝に登校して始業までの時間を有効に活用する生徒、昼休みや放課後に予習・復習そして受験勉強に取り組む生徒など、自習室は毎日、完全下校時刻まで照明が消えることはありません。ここには、大学入試の過去問題集や大学のパンフレットなど、みなさんの進学に役立つであろう資料もそろえています。静謐(ひつ)で緊張感のある空間は仲間と切磋琢磨することができる絶好の場と言えます。おおいに利用してください。

学校行事

本校の生徒たちは“勉強ばかりしている”わけではありません。学校行事も盛んに行われ、翠翔祭(文化祭)・体育祭・球技大会・芸術鑑賞会など、数多くの学校行事にも、学習時間を確保しながら全力で取り組んでいます。「翠嵐」では生徒がいろいろなことにチャレンジして、充実した高校生活を過ごす中で、自分の持っている可能性を自分自身で見つけています。

部活動

部活動(運動系:15・文化系:19・同好会:3・委員会:2)は、生徒が自主性を持って活動する場です。

現在、全体の約90%の生徒が加入していますが、1週間に2日間の活動休止日を設定し、余裕を持って家庭学習ができる環境をつくるなど、無理なく参加できる形態になっています。



落ち着いた雰囲気の自習室



体育祭での1コマ

※学校説明会……第1回:9月18日(月・祝) 9月24日(日) 西公会堂 第2回:12月9日(土) 予定 場所未定



しろさと
神奈川県立 城郷高等学校



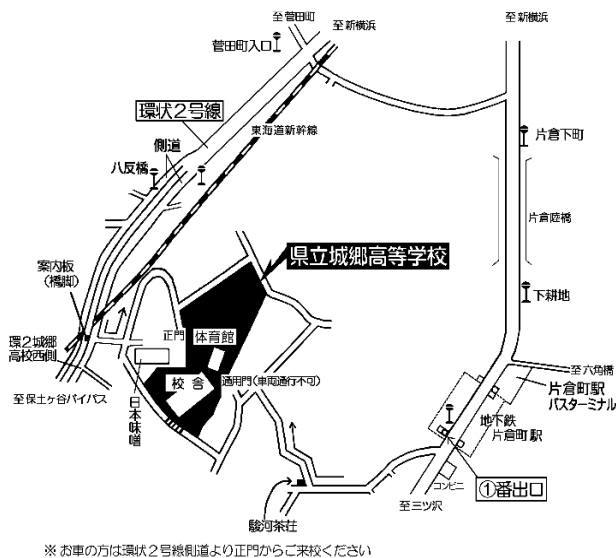
所在地：横浜市神奈川区三枚町364番地 1 〒221-0862
 電話：045 (382) 5256
 FAX：045 (382) 7691
 URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/shirosato-h/
 創立：昭和62年1月
 課程：全日制
 設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
普通科	259	257	244	760
学級数	7	7	7	21

(生徒、学級数については令和5年4月現在)

<学校案内図> 利用交通機関

- 市営地下鉄ブルーライン片倉町駅下車（1番出口）徒歩10分
- 相鉄線 羽沢横浜国大駅下車 徒歩25分
- 市営バス 36・82系統 「片倉町駅」下車徒歩10分
129・82系統 「八反橋」下車徒歩7分
- 相鉄バス 44系統 「八反橋」下車徒歩7分
- 神奈中バス 121・131系統「八反橋」下車徒歩7分



● 県立城郷高等学校

☆横浜に近く、自然に恵まれた環境

最寄駅は横浜市営地下鉄の片倉町駅（横浜駅から3駅、新横浜駅から2駅）で、そこから徒歩10分ほどの丘の上にあります。令和元年に相鉄線の羽沢横浜国大駅が徒歩25分ほどの場所にできました。令和5年には相鉄・東急新横浜線の開通もあり、本校へのアクセスが、更に便利になりました。横浜の中心部とは思えない緑豊かな自然環境の中にあり、春にはうぐいすの鳴き声が聞こえることもあります。また、校舎から時折富士山を望むことができます。

☆安心・安全な学校生活

生徒の気質は明るく素直で、穏やかな雰囲気のある学校です。生活指導にも力を入れていて、「説得、納得、理解」の生活指導を目指しています。また、こまめに面談などをおこなうことで、生徒一人ひとりに目を配った支援を心がけ、生徒が落ち着いた学校生活を送れる環境を作っています。また、令和4年度より正しい服装をする「正装日」を設けており、T.P.O.に合わせた服装をすることで、生徒自ら判断できる力を養う指導を行っています。

☆教育活動の特徴

～ 生徒のニーズに合わせたきめ細かい学習 ～

城郷高校では基礎学力を重視し、個別化された丁寧な学びを可能にすることで個性と能力の伸長を目指しています。

授業面では、1・2年生の英語・数学の授業の一部で習熟度別を導入しています。また英語・数学・国語・理科・情報・総合的な探究の時間の中でチーム・ティーチングを実施し、「学習の最適化」を行っています。

また学習環境の整備にも力を入れており、自習室や職員室横の質問スペースの設置、図書館のラーニングコモンズ化などによって、生徒のニーズに応えることのできる環境の提供をしています。

☆総合的な探究の時間

「総合的な探究の時間」では、各学年で地域についての理解を深めるシチズンシップ教育や共生社会の実現を目指す人権教育などを取り入れながら、自分自身の進路の実現に向けた系統的な学習を進めています。

部活動

運動部・文化部を問わず多くの生徒が参加する部活動は盛んで、楽しそうな声が校舎内外に毎日響いています。同好会も多く設立されて、部に昇格もしています。



・**運動部**

サッカー・硬式野球・陸上競技・弓道・テニス・ダンス・バスケットボール・バレーボール・バドミントン・剣道・卓球

・**文化部**

美術・パソコン・吹奏楽・マンガ研究・茶道・放送・軽音楽・自然科学・コーラス・書道・演劇・競技かるた

・**同好会**

家庭科・文芸・写真

★**活動実績（令和4年度）**

◆**弓道部：**

全国高等学校弓道選抜大会 女子個人 6位入賞
 全国高等学校弓道選抜大会県予選 女子個人 優勝
 横浜地区高等学校弓道大会 女子団体 優勝
 国体県予選 女子個人 7位

◆**バドミントン部：**

横浜地区高体連冬季バドミントン大会
 男子ダブルス ブロック準優勝
 女子シングルス ブロック優勝

◆**バレーボール部：**

横浜地区秋季大会 女子 ブロック優勝

◆**美術部：**

神奈川県高等学校美術展 高文連会長賞

◆**演劇部：**

春季演劇発表会 優秀賞

令和5年度学校行事（三学期制）

4月	一学期始業式・入学式 1・2年学習到達度テスト、3年外部模試		
5月	社会見学・中間テスト		
6月	体育祭（2金）・選択科目説明会・防災講演会・中高連携事業（特別募集）		
7月	期末テスト 終業式 面談週間 部活動合宿	8月	夏季補習 部活動合宿 二学期始業式 1・2年学習到達度テスト
9月	特別募集（中高連携事業） 城峰祭（きほうさい・15金・16土） 一般公開は16日のみ（予定）		
10月	修学旅行（2年）・中間テスト 第1回学校説明会（14土） 特別募集（1・2年対象説明会）・部活動体験（14土）		
11月	第2回学校説明会・部活動体験（11土）・地域貢献活動		
12月	期末テスト・球技大会・終業式		
1月	三学期始業式 1・2年学習到達度テスト、3年外部模試 3年学年末テスト		
3月	1・2学年末テスト・球技大会 卒業式・修了式		

～ともに学び、ともに育つ～

「生き生きと生活できる学校」を目指します。

インクルーシブ教育実践推進校である本校では、特別募集で入学した知的障がいのある生徒が在籍し、生徒一人ひとりの状況に応じて必要な配慮が行われています。合理的に配慮された学習環境はユニバーサルデザインとして、すべての生徒にとってよりよい学びが実現することに繋がっています。

城郷高校では、リソースルームの設置、ティーム・ティーチング、習熟度別学習、ICT活用などを取り入れながら、生徒全員がともに学び育つための環境作りと支援を行っています。

《 **進路状況** 》

進学率は近年、90%に達しています。令和4年度は大学進学率が59%、専門学校進学率が約27%と、多様な進路への進学を実現しています。

【 **進路実績** 】 令和5年3月卒業生

大学	鹿児島（国立）大学・青山学院大学・麻布大学・桜美林大学・学習院大学・神奈川大学・鎌倉女子大学・関東学院大学・北里大学・國學院大学・国土館大学・駒澤大学・産業能率大学・専修大学・東海大学・東京都市大学・東洋大学・日本体育大学・日本大学・フェリス女学院大学・明治大学・明治学院大学・立教大学・早稲田大学 など
短大	鶴見大学短期大学部 など
専門学校	県立衛生看護専門学校・日本工学院 など



こうほく
神奈川県立 港北高等学校



所在地：横浜市港北区大倉山7丁目35番1号 〒222-0037

電話：045(541)6251

FAX：045(545)7871

URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kohoku-h/

創立：昭和44年1月

課程：全日制

設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
普通科	358	356	315	1029
学級数	9	9	8	26

(生徒、学級数については令和5年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- 東急東横線大倉山駅下車徒歩約18分
- 市営地下鉄ブルーライン新羽駅下車徒歩16分
- JR横浜線・市営地下鉄ブルーライン・相鉄東急 新横浜線 新横浜駅 下車徒歩約25分
- JR鶴見駅西口より市営バス(41系統)「太尾堤」下車徒歩約5分



やがて大樹になるために

— 校歌の一節より —

創立時の「一つでも良い、自分の優れた能力を見出してその芽を伸ばせる学校にしてみたい。」という理念を今日でも継承しています。

教育目標

中学校における教育の基礎の上に高等学校普通科の教育を施し、人間性の涵養と品性の向上につとめるとともに次の諸点に特に意を用いる。

- ① 理想を高くもち研究心旺盛な人となる。
- ② 各自の特性を活かし誠実にして実践力ある人となる。
- ③ 健康明朗にして幅広く協調性ある人となる。

特色

平成28年度から令和3年度まで、県教育委員会から指定された横浜北東・川崎地域唯一の「授業力向上推進重点校」として、アクティブ・ラーニングの視点による授業実践の研究を行ってまいりました。本校では、これから大きく変化する社会の中で、最も求められる力である、「課題を発見し解決するために必要な『自ら主体的に学び続ける力(自学力)』」を育成します。

日々の授業のほかに、進路実現や学力補強を目的として長期休業中の講習・補習を実施しています。生徒が自

学力を高め、確かな学力を身につけるよう、学習支援を行っています。生徒一人ひとりに対して丁寧に対応し、面倒見のよい学校であり続けたいと思っています。

港北高校の生徒は、「何事にも明るく素直で前向きに。自分で考え、最後までやり遂げる。」という港北スピリットを受け継ぎ、部活動、学校行事や委員会活動に積極的に参加しています。特に体育祭(6月)、思港祭(文化祭、9月)、球技大会(年2回)は生徒中心に自主運営され、大いに盛り上がります。

教育活動の特徴

○基礎・基本の定着(教育課程)

教科・科目の学習内容を着実に理解、定着させるために、1・2学年においては必修科目を多く設置し、基礎力を確かなものにしていきます。また幅広い知識の習得を目指し進路選択の幅を広げます。

○様々な進路に対応する授業展開(教育課程)

2・3学年においては、国公立大学への進学をはじめ、様々な進路に対応するため、文系・理系のコース分けとともに多様な科目を選択することができます。

○「主体的・対話的で深い学び」による授業
生徒の能動的な授業への参加を促す「主体的・対話的で深い学び」による授業を実践しています。ペアワーク・グループワークや、発表・教え合いなどの言語活動を行うことにより、知識を活用し深く学び、思考力・判断力を鍛え、表現力とコミュニケーション能力の育成を目指しています。

○「自ら主体的に学び続ける力(自学力)」の育成
「総合的な探究の時間」は「思港Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」というタイトルで、「自学力」を育成するために3年間にわたり探究活動を行います。

○地域に根ざした学校
体育祭などの行事や、吹奏楽部、調理部、書道部、ダンス部などの部活動で、隣接する太尾小学校と交流が行われています。3年生の選択科目「発達と保育(家庭専門)」では地元大倉山の子育て支援施設「どろっぷ」の活動に参加するなど、学校外での学習活動やボランティア活動も盛んで、その成果による単位認定も行っています。

卒業生の進路状況(令和5年3月卒業生)

大学	短期大学	専門学校	就職	その他
272人	3人	11人	1人	21人

○令和4年度 主な指定校推薦のある大学
横浜市立大学/明治大学/中央大学/立教大学/青山学院大学/法政大学/学習院大学/明治学院大学/成蹊大学/成城大学/東京都市大学/日本大学/昭和女子大学/駒澤大学/専修大学/神奈川大学/國學院大學/武蔵大学など多数

○令和4年度 主な四年制大学 合格実績
大阪教育大学/茨城大学/琉球大学/宮崎大学/横浜市立大学/東京都市大学/神奈川県立保健福祉大学/岩手県立大学/青山学院大学/大妻女子大学/学習院大学/北里大学/杏林大学/工学院大学/國學院大學/国土館大学/駒澤大学/産業能率大学/星薬科大学/芝浦工業大学/昭和女子大学/成蹊大学/成城大学/専修大学/玉川大学/多摩美術大学/中央大学/帝京大学/東海大学/東京医療保健大学/東京工科大学/東京電機大学/東京都市大学/東京農業大学/東京薬科大学/東京理科大学/東洋大学/日本大学/日本女子大学/日本体育大学/法政大学/武蔵大学/武蔵野大学/武蔵野美術大学/明治大学/明治学院大学/立教大学/早稲田大学/麻布大学/神奈川大学/神奈川工科大学/鎌倉女子大学/立命館大学など多数

○令和4年度 主な短期大学・専門学校 合格実績
会津大学短期大学部/鶴見大学短期大学部/東京歯科大学短期大学部/横浜労災看護専門学校/横浜リハビリテーション専門学校/横浜デザイン学院/横浜ミュージックスクール/情報科学専門学校/国際フード専門学校など

部活動の主な活動実績

○吹奏楽部
・2022年第24回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜
実行委員長賞 ロケットミュージック賞

○軽音楽部

- ・神奈川県高等学校総合文化祭 第20回高等学校軽音楽部コンクール奨励賞 高文連会長賞(5位) 専門部会長賞(9位)
- 書道部 神奈川県高等学校総合文化祭 第58回高等学校書道展 高文連会長賞
- 放送部 第69回NHK杯全国放送コンテスト 全国大会決勝 朗読部門 優秀賞1名 優良賞1名
- 陸上競技部 全国高校総体 女子やり投げ 出場
- 水泳部 第90回日本高等学校選手権大会(四国総体) 100メートル平泳ぎ出場
- サッカー部 令和4年度関東高校サッカー大会神奈川県予選 2次予選出場

<部活動>

陸上競技/男子・女子バレーボール/男子・女子バスケットボール/バドミントン/サッカー/男子・女子テニス/硬式野球/卓球/剣道/水泳/ダンス/吹奏楽/軽音楽/茶華道/美術/書道/写真/放送/調理/漫画/文芸/囲碁・将棋/天文/コンピューター部/柔道同好会

学校行事

行事はすべて生徒中心に自主的に運営されています。体育祭は「赤・青・紫」三色対抗で行われ、応援合戦は大きな盛り上がりを見せます。文化祭(思港祭)では、各クラスが「港北大賞」をめざし、趣向をこらした出し物で競い合います。調理部のカレーとマドレーヌには毎年長蛇の列ができます。



思港祭 書道部によるパフォーマンス

生徒会長より一言

港北高校に入って良かったこと！
①登下校の土手！鶴見川沿いの漫画のような超！青春な通学路！②部活動！多くの部活動が毎日全力で活動しています！私は吹奏楽部に所属し、仲間との絆が深まり、高校生の今だからこそできる放課後練習に全力で取り組んでいます！③行事！体育祭の応援アトラクションや、文化祭軽音楽部の演奏は全校が大盛り上がり！
勉強はもちろん全てに全力な港北生！自分たちで考え、協力し、生徒が主体となって行動しています。中学生のみなさん、港北高校でお待ちしております!!!



に っ ぱ
神奈川県立 **新羽高等学校**



所在地：横浜市港北区新羽町1348番地 〒223-0057
 電話：045(543)8631
 FAX：045(545)7794
 URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/nippa-h/
 創立：昭和52年1月
 課程：全日制
 設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
普通科	401	382	372	1155
学級数	10	10	10	30

(生徒、学級数については令和5年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- 市営地下鉄ブルーライン北新横浜駅下車徒歩13分
- 東急東横線綱島駅より
東急バス(綱72系統)「新横浜駅」行き「専念寺前」
下車徒歩7分
- 東急東横線大倉山駅より
市営バス(41系統)「大竹」下車徒歩9分



● 県立新羽高等学校

○ 新羽高校とは

新羽高校は、昭和52年4月に開校し、令和5年には47期生を迎えました。この間の卒業生は約1万5千人を数え、各方面で活躍しています。

本校は、横浜市営地下鉄ブルーラインで「横浜」駅から13分(「あざみ野」駅からも13分)の「北新横浜」駅下車徒歩約13分と、交通の便に恵まれています。校地は鶴見川沿いの田園と雑木林に囲まれ、学習や運動をするのに適した環境にあります。

令和2年度から自習室を開設し、生徒の主体的な学びを一層支援しています。

○ 教育活動の特徴

1 アドミッション・ポリシー

(入学者の受け入れに関する方針)

次のような生徒を受け入れます。

- 自ら考えようとする姿勢を持つ生徒
- 自らの夢の実現に向けて努力したり、挑戦し続けたりする意欲のある生徒
- 自分や周りにいる人を大切にし、より良い人間関係を築こうとする生徒
- 中学校までの学びや経験をもとに、自分の可能性を広げたい生徒

2 グラデュエーション・ポリシー

(育成を目指す資質・能力に関する方針)

新^{ステージ}たなる空へ ～3つの羽を携えて～

様々な変化に対応し、自らの未来を切り拓いていく力を備えた人材を育成するため、次のような資質・能力を育みます。

「課題解決能力」「自己管理能力」「豊かな人間性・社会性」

3 カリキュラム

「3つの羽」を育てるため、次のようにカリキュラムを編成しています。

【令和5年度入学生】

1年生：週に30単位時間(LHRを含む)

外国語授業(論理・表現I)における少人数学習
芸術教科は音楽I、美術Iの2科目から1科目を選択します。それ以外は全員同じ科目を学習します。

2年生：週に30単位時間(LHRを含む)

多様な進路選択を実現するために、幅広く必修科目が設定されています。また、進路を考えて、数学B・芸術II(音楽IIまたは美術II)・情報産業と社会の中から1科目(2単位)、物理基礎または地学基礎から1科目(2単位)を選択します。

3年生：卒業後の進路希望や興味・関心に沿っていくつかの科目を選択することになります。文系・理系それぞれの必修選択科目の他、多様な自由選択科目があり、10単位まで自由に選択します。

☆技能審査（実用英語技能検定、日本漢字能力検定、実用数学技能検定）やボランティア活動、就業体験活動の成果を単位認定します。

4 キャリア教育・総合的な探究の時間

社会的課題と自己の在り方に関する総合的な探究を通して、社会における諸課題を発見し、解決する能力を育成するとともに、よりよい社会の実現に向けた自己の在り方を見出すことを目標に、3年間を見通して総合的な探究の時間を行っています。

○探究課題と学習内容

1年生：興味・関心のある分野における課題の探究を通して、探究プロセスの基礎を習得するとともに、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

- 探究活動に必要な基礎的な力を習得しながら、自己の在り方・生き方をテーマとした探究活動を体験する。探究の学習プロセスを習得していく中で、自己の進路課題にはどういったものがあるのかを考え、学期末に学習成果を発表する場を通して、一連の探究学習の流れを体験的に確認し、次年度に探究したいテーマについて考える。

2年生：現代的な諸課題の探究を通して、探究プロセスを習得するとともに、よりよい社会を実現しようとする態度を高める。探究活動のフィールドとして修学旅行先である北海道をとりあげる。

- 探究プロセスを活用し、現代的な課題について様々な観点（「言語」「文化」「歴史」「国際理解」等）から分析・考察し、学習成果を発表する場を通して発信する。

3年生：職業や自己の進路に関する課題の探究を通して、探究プロセスを活用し、進路実現に向けた活動を通じた社会参画・貢献の在り方を見出す。

- 2年次までに習得・活用した探究プロセスを応用し、自己の進路実現および進路にかかわる社会的課題の解決に向けた探究を行い、論理的・効果的・魅力的に発信する。

○学校行事

☆修学旅行：令和4年度は北海道で農業体験・自然体験学習を行いました。



修学旅行（北海道）

ひしゅうさい
☆飛翔祭：毎年9月に実施している文化祭です。



ひしゅうさい
飛翔祭（文化祭）

☆体育祭：毎年5月末から6月に実施しています。



体育祭

☆その他：学校説明会（中学生対象の個別相談）、部活動体験、ウィンターライブ（12月中旬）、球技大会（2、3学期末）などがあります。

○部活動

☆運動系：サッカー、野球、陸上競技、バドミントン、テニス、卓球、ダンス、バスケットボール、バレーボール、柔道、剣道

☆文化系：演劇、写真、美術、軽音楽、吹奏楽、合唱、コンピュータ、漫画研究、茶道、ボランティア、パティシエ、文芸、競技かるた、イラスト・デザイン、囲碁・将棋

野球部、サッカー部、バドミントン部、バレーボール部、陸上競技部、柔道部、競技かるた部、写真部などの部が県大会に出場しています。

また、文化部の活動も年々盛んになっています。



競技かるた部